



イラク後送業務隊の活動報告



18. 7. 25
イラク後送業務隊

イラク後送業務隊活動報告 (7月25日)

1. 人員・装備の状況

→ 1st ENT

- 人員
クウェート後送隊 [redacted] 下痢のため空自医務室に入室 (26日頃までの予定)
- 装備：異状なし

2. 25日(月曜日)の活動

区分	業務内容
後送業務	コンテナ作成 5個コンテナ作成 (車両×3、通信×1、施設×1)
	洗車 4両洗車準備終了 (特大×4)
	本邦後送
	その他 ○ファルアニア倉庫物品確認(冷凍冷蔵車修理用追送部品の確認)
その他	○キャンプバージニア施設撤収業務 副隊長以下30名をもってコンテナ整理、不用品の処分、施設返納を実施 ○衛生教育受け ○サマーワ後送班戦力回復 ([redacted] 以下5名)

KWからの装備品等の後送状況把握（全体像）

コンテナ

KWから本邦へ後送するコンテナ総数【581本】			
コンテナ詰め数【220本】		空数【361本】	
終了【99本】	今後実施【121本】		
後送済【56本】			後送済【0本】

車両

KWから本邦へ後送する車両総数【230両】	
洗車終了【94両】	今後実施【136】
後送済【27両】	

統幕・陸幕用

③ 後送業務の進捗状況

7月25日末現在

区分	計画		実績 (c)	進捗度		残数	備考
	総数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (c/a)	計画比 (c/b)		
コンテナ	開梱 (コンテナ数)	337	284 【5】	84.3%	100%	53	
	コンテナ詰め (点数)	99,451	19,623	19.6%	100%	79,828	
	後送 (点数)		7,412	7.4%	100%	92,039	
車両	洗浄	230	94 【4】	40.9%	119%	136	
	後送		27 【0】	11.3%	100%	203	

※ 点数については、弾薬を除いた点数
【 】内は当日の実績で内数

4 26日(水曜日)の活動予定

区分		業務内容
後送業務	コンテナ作成	8個コンテナ作成 (車両×3、火器×3、需品×2)
	洗車	6両後送準備完了 (大型×6)
	本邦後送	
	その他	
その他		○キャンプバージニア施設撤収業務 4科長以下10名によるコンテナ整理、不用品の処分、施設返納業務の実施 ○サマーワ後送班戦力回復()以下5名)

5 週間後送計画及び実績

区分	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28
	土	日	月	火	水	木	金
コンテナ作成	車両×2 通電×1 施設×2	車両×1 需品×1 施設×2	車両×1 通信×1 需品×1 衛生×1	車両×2	車両×3 通信×1 <i>223/20</i>	車両×3 通信×1	0
	車両×2 通電×1 需品×2	車両×1 通信×1 需品×2	車両×2 需品×2 衛生×1 通信×1	車両×3 通信×1 施設×1			
洗車	5	4	4	0	<i>4/0</i>	4	0
	6	3	16	4			
後送	コンテナ	武器×3 弾薬×6					
	トレー						
	車両	27					

※下段には実績を記入

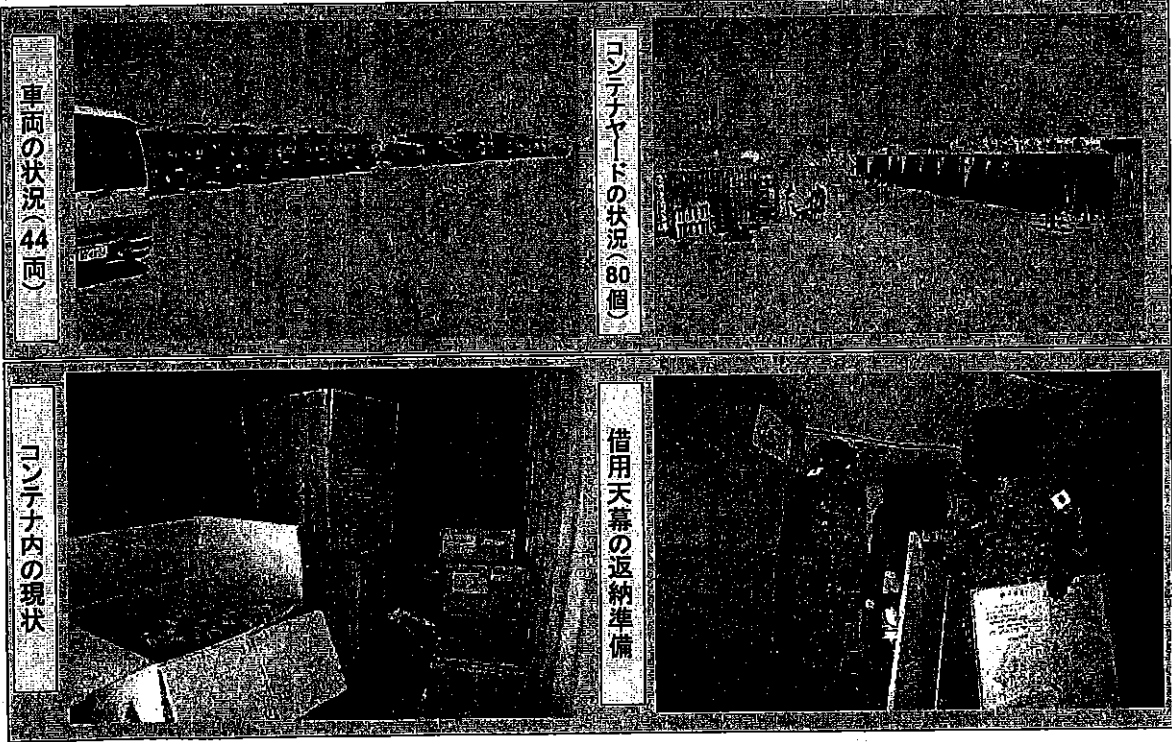
6 日々ミーティング

- 治安情勢:別紙第2「クウェートの治安状況等(7月25日)」
- RSU長指導事項
 - 本日から我々の活動の第2弾であるキャンプバージニアの撤収を本格的に始めたが、50度以上ある暑さの中の作業、ご苦労様。これからキャンプバージニアにはコンテナ、車両及び資材等大量の物品が残っており、約1週間をかけて物品を処置し、■■■■倉庫等に移動させていくことになる。この間、LAV等自衛隊車両の操縦を含め、安全管理に十分に留意して実施せよ。

RSU活動状況 (7月25日)

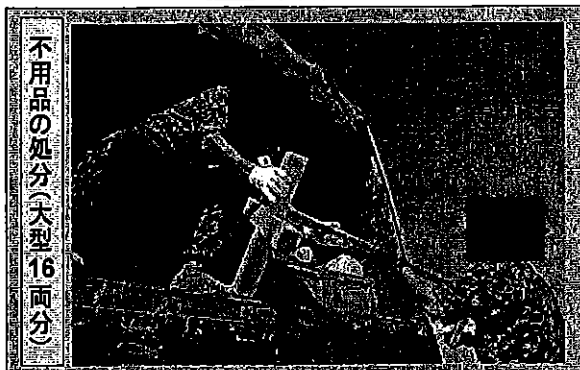
別紙第1

キャンプバージニア施設撤収(0630~1400)
(コンテナの整理、不用品の処分及び借用天幕等の整備)



RSU活動状況 (7月25日)

別紙第1



不用品の処分(大型16両分)



CPH会議室における衛生教育受け(隊本部)



倉庫におけるパン詰め待ちの状況



車両からの燃料抜きとり

クウェートの治安状況等 (7月25日)

別紙第2

区分	内容	備考
クウェートの治安状況等	1 在クウェート日本大使館等 警戒情報 (1) 警戒レベル : ██████████ (2) 日本国外務省渡航安全情報:クウェート全土「十分注意」(N/C)	N/C
	2 ██████████倉庫・RSU宿泊場所等活動地域:異常なし。	N/C
	3 クウェート国内での車両運行に及ぼす影響 交通事故は、ほぼ連日発生している事から車両運行時、特に次の点に注意 (1) R6, R40, R80上の速度超過による追突事故、突発的な歩行者の横断 (2) 前方走行するトラックのバーストによるタイヤの飛来(7月以降は、道路の高温に加え、ほとんどのトラックは再生タイヤ着用のため、タイヤはバーストしやすい状況)	N/C
	4 宿泊場所及び██████████倉庫等での活動に及ぼす影響 クウェート全土で反米勢力がテロを敢行する可能性は排除できず、宿泊場所及び██████████倉庫等への移動間は警戒する必要がある。	N/C
	5 その他 付紙「イスラエル・レバノン情勢に関するイスラム諸国の反応」	7/25追加
気象	1 天気:晴れ 2 活動地域の温度(PWC洗車場) :最高・62℃(昨日比+1℃) 最低・41℃(昨日比+1℃) 3 27日から砂嵐が発生すると予想 27日砂嵐が発生し30日くらいまで風が強く砂嵐が発生すると予想。 (アリアルサlem空軍基地 空自 気象班情報)	7/25更新

イスラエル・レバノン情勢に関するイスラム諸国の反応(1/3)

【趣旨】

イスラエル・レバノン情勢に関し、クウェート政府及びイスラム諸国の反応を入手したところ、これを紹介するもの

【クウェート内閣の反応】(7/24付アラブタイムズ)

1. 首相が主催する週間閣議において国際社会に
 - ①イスラエルの組織的テロリズムを非難し、その完全な放棄、
 - ②イスラエルの敵対行為を即刻止めさせるための介入 等を要求
2. パレスチナ・レバノン救済策として2000万ドルを寄付
3. 元々の発端であるヒスホラによるイスラエル兵士の拉致(イランの核開発をそらすため後でイランが手を引いているのは間違いないとの見方が大半)を強く非難

【アラブ諸国及びイスラム諸国の反応】(資料源)

イスラエル・レバノン情勢に関するイスラム諸国の反応(2/3)

【評価】

- イスラエルがレバノン南部にNATO軍派遣を容認し、停戦の可能性も見えてきている。(7/24情報)
- イラン国軍統合参謀本部フィルーズアバディ司令官は「イランは軍事介入する考えなし。」と指摘。(7/24情報)
←イランとしてみれば核開発から国際社会の目をそらす事ができたため目的達成しているのであえてリスクを冒す必要なしともくろんでいるものと思料
これらの点から、直ちにイスラム諸国がテロリストを育てる温床となる可能性は少ないと見積られるものの、レバノンやパレスチナの日々の悲惨な状況に対してイスラエル及びイスラエル側の米国に対するイスラム諸国の怒りは収まらず、クウェート国内においても、反米デモ等が発生し、これに巻き込まれる可能性もあることから、引き続き警戒を要する。

イスラエル・レバノン情勢をめぐるイスラム諸国等の関係構図

